

3月12日：パンデミックへの懸念で市場は暴落

3月12日の株式相場は下落を続けた。投資家は世界での新型コロナの広がりに警戒感を強めており、VN指数は2017年8月以来の安値に達した。

ホーチミン取引所では53銘柄が上昇し344銘柄が下落した。117銘柄がストップ安となった。引け時点で、VN指数は42.10ポイント（5.19%）値下がりして769.25ポイントで取引を終えた。

VN指数は今週122ポイント値下がりし、時価総額にして552兆ドンを失うこととなった。月曜日には19年で最も値下がりをした。

VN30指数では29銘柄が下落、ビンググループ（VIC）、サイゴンビール（SAB）などが大きく値下がりした。マッサングループ（MSN）が唯一変わらずの49,950ドンで取引を終えた。

サコムバンク（STB）は出来高が2130万株であったが、6.6%安の9950ドンで取引を終えた。軍隊商業銀行（MBB）は1540万株が取引され、ホアファットグループ（HPG）は1300万株が取引された。

小型株では、AMDとQCGといった市場に逆らった動きでストップ高となった。出来高はそれぞれ910万株と120万株であった。

また、イエーワン（YEG）は71400ドンのストップ高、20万株が取引された。飲料会社のTan Hiep Phatとの提携が好感された。

ハノイ取引所ではアジアコマーシャル銀行（ACB）が5.6%安の22100ドン、ペトロベトナムテクニカルサービス（PVS）はストップ安となった。

サイゴンハノイ銀行（SHB）は出来高トップで0.9%高となった。

HNX指数は3.61ポイント（3.42%安）となり101.92ポイントで終了。今週12ポイント以上の下落となっている。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。